

令和元年度

第2回公民館運営審議会議事録

令和元年7月12日開催

令和元年7月26日承認

浦安市高洲公民館

○ 出席委員

副委員長	米山	泉
委員	渡邊	子
委員	湯目	明
委員	大川	子
委員	田中	子
委員	軽部	子
委員	後条	秀
委員	登内	明
委員	西村	彦
委員	越村	英

○ 事務局

生涯学習部部長	八田吉浩
高洲公民館長	小林順子
中央公民館長	川口雅之
堀江公民館長	三浦正志
富岡公民館長	堀木和久
美浜公民館長	本多浩美
当代島公民館長	河野純栄
日の出公民館長	岡本修司
生涯学習課課長補佐	溝上澄人
生涯学習課	木村享平
高洲公民館	浜野齊
高洲公民館	宮崎英勝

## 令和元年度 第2回 公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和元年7月12日（金）午後3時～5時
- 2 開催場所 高洲公民館 第3・第4会議室
- 3 出席者  
（委員）  
米山副委員長、渡邊委員、湯目委員、大川委員、田中委員、軽部委員、後条委員、  
登内委員、西村委員、越村委員  
（事務局）  
生涯学習部部長、高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、  
美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、生涯学習課長補佐、  
生涯学習課主任主事、高洲公民館主査、高洲公民館副主査
- 4 傍聴者 2名
- 5 議題
  - I 開会
    1. 委嘱状交付
    2. 委員長挨拶
    3. 教育委員会挨拶
  - II 協議
    1. 報告事項
      - (1) 公民館主催事業（4月～6月）参加状況報告
      - (2) 家庭教育講演会開催結果報告
      - (3) 当代島公民館文化祭開催結果報告
      - (4) 第2次生涯学習推進計画・生涯スポーツ推進計画策定（報告）
  - III その他
    - (1) 「浦安市文化政策基本方針」の配布について

## 6 議事概要及び会議経過

### I 開会

1. 委嘱状交付（後条委員）
2. 委員長挨拶
3. 教育委員会挨拶

### II 協議

#### 1. 報告事項

##### (1) 公民館主催事業（4月～6月）参加状況報告

公民館全体の総括について、高洲公民館長より報告を行い、各館の状況について、各公民館長より報告を行った。

(委員)

高洲公民館の家庭教育学級の参加者数が少ないが、それに比べてシニアの方の多く参加されている。シニアの方にとっては、公民館は貴重な場所であるので、より魅力ある講座や子どもたちと絡むイベントがあればいいと思う。

##### (2) 家庭教育講演会開催結果報告

令和元年度家庭教育講演会開催結果報告について、高洲公民館長より報告を行った。

(委員)

「ひびの入った壺」の話をネットで調べたら、とてもいい話であったので是非調べてほしいと思う。

##### (3) 当代島公民館文化祭開催結果報告

第23回当代島公民館文化祭開催結果報告について、当代島公民館長より報告を行った。

(委員)

公民館文化祭に青少年相談委員の団体がよんだダブルダッチが特に盛り上がっていたので、高洲地区でも地域のボランティアさんが盛り上げていく必要を感じた。

(委員)

入場者の割にはアンケートの回収数が少なかった。紙も無駄になり、アンケートをどうしたらいいのかが課題だと思う。

※公民館使用料の改定についてのポスター、チラシを各館で掲示・配布をしている報告を高洲公民館長からご案内を行った。

(質疑なし)

(4) 第2次生涯学習推進計画・生涯学習スポーツ推進計画（素案）

第2次生涯学習推進計画・生涯学習スポーツ推進計画（素案）について、生涯学習課長補佐、高洲公民館長より、計画の概要と、計画推進の拠点となる施設の一つに位置付ける「公民館」の取組の方向について説明を行った。

(委員)

31ページ「市民の学びを支える」中の主な取組における、「多様な学習課題に応じた事業展開と学習機会の確保」の中で、「障がいの有無などにかかわらず」と書かれている。その一方で、「障がい者への生涯学習支援の拡充」という方向性も示されている。同様の趣旨なのであれば、区別して二つ記載する必要はないのではないかと。

(事務局)

市では、公民館主催事業を含め、要約筆記や手話通訳などをつけるなど、障がい者が学習しやすい環境づくりに努める方針で取組を進めている。

この方針は重要であることから、生涯学習推進計画（以下「本計画」）においては、「障がい者への生涯学習支援の拡充」は明記し、「多様な学習課題に応じた事業展開と学習機会の確保」における「障がいの有無などに関わらず」は、ご指摘のように重複感もあることから、削除することも含めて検討したい。

(委員)

私は、生涯学習推進計画策定懇談会（以下「懇談会」）の委員でもあるが、本日提出された計画の素案には、6月5日に行われた懇談会での意見がほとんど反映されていないが、どういうことか。

また、懇談会での意見が十分に反映されていない素案をベースに、本日の会議で意見を聞くことは適切なものか。

(事務局)

前回の懇談会の後開催される社会教育委員会議、公民館運営審議会、文化財審議会、図書館協議会においても、計画の素案にご意見をいただき、素案への反映をさせていくか検討することとしている。

また、現在、策定作業中である次期の総合計画や、（仮）教育振興基本計画、（仮）学校教育推進計画とも整合を図りながら策定作業を進めているところである。

このようなことから、各会議からのご意見の反映結果や他計画との整合を図ったうえでの素案は、8月2日に行われる次回の懇談会に提出することとしている。

本日の公民館運営審議会では、計画素案における公民館の取組について特にご意見をいただきたい。

(委員)

これは、素案の案という認識でよいか。

(事務局)

素案の案である。

(委員)

本日提示された素案における公民館の部分について、前回の懇談会で意見はあったのか。

(委員)

前回の懇談会では、公民館に関する意見はなかった。

(委員)

30ページに記載されている各施設の「今後あるべき施設像」では、図書館、博物館、文化施設については、「〇〇する図書館（博物館、文化施設）」というように、それぞれの施設が語尾に付けられている一方で、公民館だけが「地域の学びと交流を支える総合施設」となっている。複合施設と誤解される可能性もあることから、他施設と同様、「地域と学びと交流を支える公民館」でもいいのではないか。

31ページ「市民の学びを支える」では、障がい者に限らず外国人や一人暮らしの高齢者、介護を抱えた家族に対しても公民館がどれだけサポートできるかなどに視野を広げることが大事であることから、1点目の取組に盛り込むか、4点目の取組の中で、視野を広げるように書くといいのではないか。

32ページの「地域づくりの拠点としての役割の強化」において「公民館職員の資質向上」とあるが、単独の項目として位置づけてはどうか。

4ページの「計画の進行管理」について、計画期間の中間年あたりで総括をして計画の見直しを行うということは載せないのか。

(委員)

進行管理については、懇談会でも同じような意見が出されていた。

(事務局)

現在、教育総務部が策定作業中の学校教育推進計画の進行管理の方向性と調整しているところである。

(委員)

32ページ「地域づくりの拠点としての役割の強化」とあるが、この「地域」には自治会は含まれているのか。

(事務局)

「地域」の中には自治会を含んでいる。

(委員)

同項目の「地域や学校等との連携の強化」について、今の段階で具体的な構想はあるのか。

(事務局)

今後、計画策定後、公民館として具体的な取組の計画を策定したいと考えている。

(委員)

「地域や学校等との連携の強化」の中で、PTAの関わりも明記した方がいいのではないか。

(委員)

32ページ「人のつながりを育む」における文章をもっと分かりやすくできないか。

(事務局)

より市民が理解しやすい表現にできるよう、記述内容を検討したい。

(委員)

当代島公民館における取組例のように、青少年相談員や学校支援コーディネーターなど、地域と公民館をつなげる役割を持った方がつなげるといいのではないか。

(事務局)

前回の懇談会、本日の会議、そして、図書館協議会、文化財審議会にいただくご意見を整理したものを8月2日に開催される次回懇談会に提示する。

そののち、パブコメに出せるようなレベルまで修正した内容のものを9月の公民館運営審議会に提示して、11月にパブコメを実施したいと考えている。

今期委員の任期を迎えるため、各委員からご挨拶をいただいた。

以上で令和元年度 第2回浦安市公民館運営審議会は閉会した。